

夏秋ギク型スプレーギクの品種育成

農業試験場

品種育成の目的

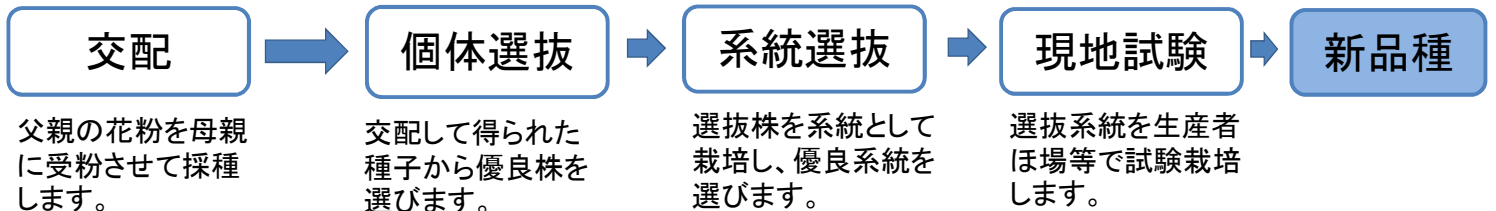
和歌山県において現在導入されている夏秋ギク型スプレーギクの品種は、茎葉が軟弱である等の欠点があるため、産地では栽培に適した有望品種の探索を行っていますが、長年にわたって定着する品種はあまりありません。

そこで、農業試験場では本県での栽培に適する、形質の優れた夏秋ギク型スプレーギクの育種に取り組んでおり、本県オリジナル品種の開発を目指しています。

育種目標

短日処理開始後、約6～7週間で開花し、草姿、切り花品質等の形質が総合的に優れ、シングル咲きで、花色が白、桃、黄の夏秋型スプレーギクの育成を目標としています。

品種育成の流れ



現在育成中の系統

2012年から交配、個体選抜、系統選抜を繰り返し、これまでに白色1系統、桃色1系統、黄色1系統を選抜しました。

今後、産地の意見も踏まえつつ、これらの系統の品種登録を目指します。



白色選抜系統



桃色選抜系統



黄色選抜系統

表 選抜系統と対照品種の切り花特性

花色	系統または品種 ^w	到花日数 ^x (日)	輪数 ^y (輪)	茎径 (mm)	切り花長 (cm)	調整重 ^z (g)
白	選抜系統	44.6 ± 1.0	13.3 ± 1.9	5.6 ± 0.4	115.1 ± 3.7	53.7 ± 8.9
	イレーザ	46.6 ± 1.8	9.3 ± 1.6	5.3 ± 0.7	102.1 ± 2.7	52.3 ± 14.7
桃	選抜系統	45.3 ± 0.8	11.1 ± 2.5	4.9 ± 0.8	96.3 ± 6.9	42.9 ± 13.6
	アリエス	45.6 ± 1.7	12.6 ± 2.3	4.7 ± 0.5	110.5 ± 5.3	37.8 ± 8.6
黄	選抜系統	49.1 ± 2.8	13.8 ± 3.8	4.6 ± 0.8	98.8 ± 5.5	43.9 ± 16.1
	オルカ	44.5 ± 2.0	11.8 ± 2.9	4.4 ± 0.8	83.2 ± 6.4	36.7 ± 12.7

挿し芽(直挿し): 2016年5月19日、摘心: 6月10日、消灯: 7月5日、短日処理(12.5時間日長): 7月5日～8月3日

注) z: 消灯後、切り花日までに要した日数

y: 切り花を80cmに調製し、基部から20cmまでの葉を取り除いたときの重さ

x: 着色が認められた花序数

w: ____で示す品種は、和歌山県における主要品種(対照品種)

v: 表中の数値は、平均値±標準偏差を示す